

平成 27 年度高校向け「文系チャレンジ講座」（目的 高校生に学問を学ぶ楽しさを伝えることで、進路選択の道しるべとする）

対象学年 主として 2 年生（学校によっては他学年が混じることもある）

回数	日時・場所	講師名	講義題目	講義概要（250 字程度）
1	6/17（水） 16.30-17.30 経済学部 203 号	経済学部 久木元 美琴	子育て支援にみる「地域」	近年、子育て支援は、重要な政策課題の一つになっています。効果的な子育て支援を考えるには様々なアプローチがありますが、ここで注目するのは「地域」という視点です。子育ては生活に密着した行為ですから、人々が暮らす地域の条件によって、求められる支援のあり方は異なるはず。たとえば、大都市と地方農村では、働き方や家族、ライフスタイルなどに違いがあり、必要とされる子育て支援のあり方にも影響を与えているのです。この講義では、地域特性に即した子育て支援を考えるための視点を学びます。
2	7/15（水） 16.30-17.30 経済学部 203 号	経済学部 佐藤 隆	映画で入門！経済学	この講義では、映画という身近な素材を使って、経済の問題と経済学の考え方について学びます。授業当日は、(1)実際に映画の一場面を観て、(2)その場面に映し出された経済の問題を理解し、(3)その問題を解決するにはどうしたらよいか、経済学を用いて皆さんと考えていきます。どの映画を観るかは当日までのお楽しみです。この授業は映画を使った経済学の入門講義ですが、経済学をマスターすれば普通の人と違った観点から映画が楽しめることを伝える講義でもあります。それでは、授業の開幕まで今しばらくお待ち下さい！
3	9/16（水） 16.30-17.30 経済学部 203 号	経済学部 鵜崎 清貴	ベンチャー企業の起業と資金調達	戦後、日本には松下電器産業を創立した松下幸之助、ソニーの井深大・盛田昭夫、本田技研工業の本田宗一郎など、数多くのアントレプレナー（起業家）が出現してきました。また 1980 年代後半からも、ソフトバンク、楽天など多くの IT 企業を起業したアントレプレナーが生まれてきましたが、アメリカほどの多くの雇用を生み出しではありません。一方アメリカでは、90 年代からグーグルやアマゾンなど 1 万人以上の従業員を雇用するような大企業を短期間で成長させたアントレプレナーが多く出現し、アメリカの雇用を確保するとともに、経済をけん引する原動力となってきました。2011 年のスイスのビジネススクール IMD の国際競争力ランキングによると、日本の国際競争力は 59 ヶ国中 26 位であり、特にアントレプレナーシップにおいては、最下位でありました。株主価値経営のグローバル化の時代においては、自立的で革新的なアントレプレナーの勃興こそが、地域の経済の発展と個々人の富の拡大をもたらすものと考えます。そのため本講義では、自立的な改革を進めるアントレプレナーはどの様に起業し、最も困難である資金調達を行ってきたかを講義します。

回数	日時・場所	講師名	講義題目	講義概要（250 字程度）
4	10/14（水） 16.30-17.30 経済学部 203 号	教育福祉科学部 廣野 俊輔	障害がある人の福祉	障害をもっている人は、生活のどんなところに不便を感じているのだろうか。生活の場面でどんな支援があると生活がしやすくなるのだろうか。こうした問題を、障害がある人が実際に利用する道具や関係する映像を利用しながら、参加者と一緒に考える。
5	11/25（水） 16.30-17.30 経済学部 203 号	経済学部 松岡 輝美	ICT を活用した企業の O2O 戦略	情報通信技術の普及と進歩が小売業界にもたらす影響について「ショールーミング」を題材に企業側の対策を考えていきます。 スマートフォンの普及により、実店舗では商品の確認だけで、購入はインターネットを通じて最安値のショップを選んで行うという「ショールーミング」という現象が起きています。店舗を構えながら売り上げにつながらないこうした事態に多くの小売店が頭を悩ませています。これを打開するために実店舗がとる画期的な戦略を具体的に挙げて、エッセンスを抽出し、どのように他社に应用できるかについて解説します。
6	12/16（水） 16.30-17.30 経済学部 203 号	経済学部 村山 悠	バブルの発生と崩壊が日本経済に与えた影響	1980 年代後半から 90 年代初頭にかけて、日本経済は地価や株価といった資産価格の高騰とその後の急落を経験しました。こうしたバブルの発生と崩壊は、日本経済に大きな影響を与え、「失われた 10 年」あるいは「失われた 20 年」といわれる長期不況をもたらしました。そのため、バブルの発生と崩壊は、日本経済の歴史上、特に大きな出来事だったといえるでしょう。本講義では、バブルの発生と崩壊のメカニズムを解説し、バブルの崩壊が実体経済にどのような影響を与えたかについて説明します。そして、政府と日銀がどのような財政・金融政策を行ったかについて説明します。
7	1/13（水） 16.30-17.30 経済学部 203 号	経済学部 久保田 亮	文化の働きを確かめてみよう	この授業では、文化が人間の振る舞いやモノの見方にどのように作用するかについて、区切る、名付ける、意味付ける、結びつける、という四つのキーワードに注目しながら学習していきます。自身の文化を意識し、よく知ることは社会に生きる多様な人々と交流したり、協働したりする際に必要不可欠なことです。多種多様な人々と将来的に関わっていくことを見据えて、まずは自身の文化を意識し、文化と人間の日常との分かち難い関係に目を向けてみることから始めてみましょう。
8	2/3（水） 16.30-17.30 経済学部 203 号	教育福祉科学部 田中 修二	「美術」の始まり	物事にはなんにでも始まりがあって、それは「美術」でも同じです。けれど、いつ「美術」が始まったのかということを考えると、見方によっていろいろな「始まり」が見えてきます。この講義ではそれらのいろいろな「始まり」を、具体的な「作品」を例にあげながら見ていくことで、私たちにとって「美術」とはなんなのか——なぜ「美術」があるのか、人の役に立つのか、など——を考えてみます。皆さんが「美術」に限らず、いろいろな物事について、いろいろな見方で見ていくための参考になればと思います。